



亀田北病院 認知症疾患医療センター季刊誌

# ほのぼの

vol. 1

平成 24 年 8 月発行



平成 21 年 6 月より、当院は亀田北病院もの忘れ疾患センターを設置し、認知症の早期診断・早期対応から治療・看護・介護を一貫して行うことを目的としてスタートしました。

平成 23 年 1 月 1 日より認知症の治療病棟を開設し認知症に対しての治療を集中的に行い、元々の家族の元・地域に戻して馴染みの場所で暮らしてもらうことをコンセプトに開始されました。

もの忘れ疾患センターでは行政、地域包括支援センター、グループホーム等を交えて連絡協議会を実施し、認知症で困っている、また悩んでいる事例を検討するなど取り組みを共有・そして新たな取り組みを見出す場としてきました。

時には、出前講座で町内会へ出向き、認知症講座を実施しながら少しでも認知症でも暮らしていける地域づくりをお手伝いをしながら活動してきました。

平成 24 年 4 月より北海道の指定を受け亀田北病院 認知症疾患医療センターとして、これまで培ったセンターの役割を踏襲しつつ、より認知症でも暮らしていける優しい町づくりに貢献したいと思っております

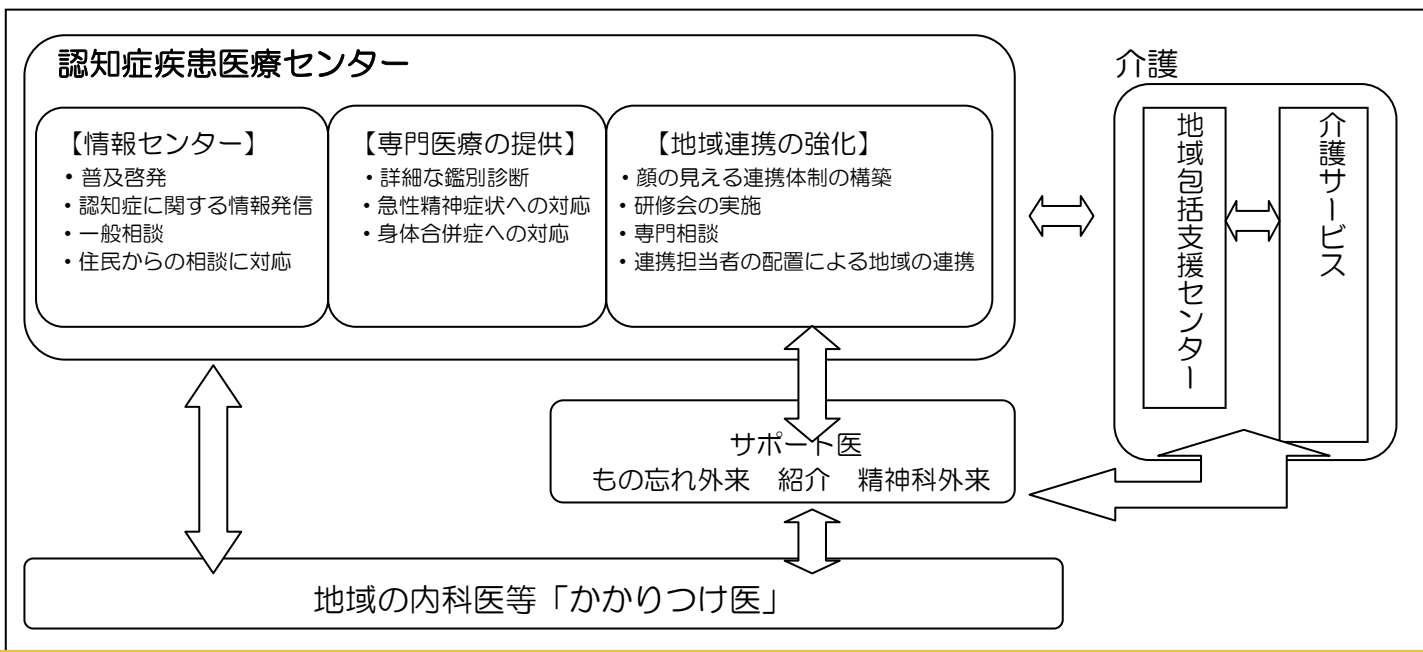
医療法人亀田病院  
亀田北病院  
認知症疾患医療センター

# 認知症疾患医療センタースタート

平成24年4月より認知症疾患医療センターが北海道より指定を受けました。平成21年より、もの忘れ疾患センターとして認知症に関わってきた実績を基に、更なる認知症への取り組みを強めていきたいと思っております。

## 認知症疾患医療センターとは

認知症疾患医療センターは、地域の「かかりつけ医」や「地域包括支援センター」など連携を図りながら、鑑別診断、急性期治療、専門医療相談等の専門医療を提供するなどともに、地域の保健医療・介護関係者への研修を行い、地域の認知症疾患の保健医療水準の向上を図る拠点として、国の要綱に基づいて、都道府県知事や政令市長が指定する医療機関。



### 新キャラクター紹介

これまで、もの忘れセンターでがんばってきた「ころちゃん」(ピンク)に力強い仲間が来てくれました。名前は「ゆたか」(青い)です。これから宜しくお願いします。



# ほのぼの講座「新薬情報」

今回の担当：仲吉淳子医師



## 1) メマリー錠 (メマンチン)

メマンチンは、他の認知症の薬とは違った作用機序で認知機能障害の進行を抑制すると言われていました。また、NMDA受容体拮抗作用により神経細胞保護作用、記憶、学習機能障害抑制作用があると考えられています。

他の認知症薬との併用も可能で、言語疎通性が改善したり、攻撃性が減ったりすることもあります。



## 2) レミニール錠 (ガランタミン)

ガランタミンは、アセチルコリンエステラーゼ阻害作用に加えて、ニコチン性アセチルコリン受容体への作用や神経細胞保護作用があると言われていました。

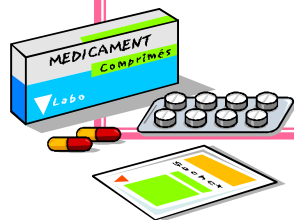
1日2回の内服が必要となりますが、中長期に投与した場合に認知症状の進行抑制に効果があると考えられています。

## 3) リバスタッチパッチ (貼り薬) (リバスチグミン)

リバスチグミンはアセチルコリンエステラーゼ阻害作用を持ち、一番特徴的なことは貼り薬であることです。他のアセチルコリンエステラーゼ阻害薬と同様に認知症状の進行を抑制すると言われていました。

リバスチグミンは1日1回の貼付のため、投与方法が簡便であり、薬を管理する上で介護者の負担が軽減されると考えられます。

**治療法は診察結果をもとに主治医が患者様やご家族と話し合い  
患者様の状態に合わせた対応を選択して行きます。**



## これからの連絡協議会

これまで当院において年2回のペースで関係機関等の連絡協議会を実施してまいりました。今年度から認知症疾患医療センターとして、この道南圏域では当院、渡辺病院、富田病院の3病院がスタートすることとなったため、連絡協議会においても、これまで各病院で実施してまいりましたが今年度から3つの病院で協力しながら実施する方向で検討しています。





## 家族会「ほのぼの」より

第1回家族会は、4月26日に開催しました。初回ということもあり、趣味の話や、日頃のちょっとよかったことなどを、和やかな雰囲気でお話する会となりました。

第2回家族会は、成年後見制度についての学習会でした。普段耳にすることも多い制度ですが、よくわからなかったり、必要とするときになって迷うことが多いと思われます。そこで今回は、精神保健福祉士の藤村より、DVDを見ながらの解説をさせていただきました。ご家族の参加人数は3名でしたが、質問や感想なども活発に交わされており、ご家族の皆様とスタッフが成年後見制度について理解を深める機会となりました。

次回は、8月23日(木)「介護保険について」開催いたします。精神保健福祉士の藤村が、日頃の皆様の疑問にお応えいたしますので、気軽にご参加いただければと思います。

「参加人数がもっと増えてくれるといいなー」と、ご家族・スタッフともに願っております。参加していただけるご家族がおりましたら、是非、地域連携室までご連絡下さい。



## ～地域のための認知症介護講座～

今年度より始めました《地域のための認知症介護講座》、第1回目は7月17日に無事行うことが出来ました。参加人数は、まだまだ少なかったものの、病院主体ではなく参加者様方が主体で話題が絶えることなくアッとゆうまの2時間を終えることが出来ました。

今年度の開催は奇数月の第3火曜日を予定としており、第2回目は9月18日午後14時より亀田北病院で開催予定です。お問い合わせは「亀田北病院 認知症疾患医療センター 本間・藤村」まで♪沢山の皆様のご参加を楽しみにしています(^o^)/



### 編集後記

穏やかな風が吹き清々しい気持ちで過ごしていたのも床の間、夏が到来。  
今年は節電・エコで病院も夏を乗り切りたいと思います

※次回機関誌は平成24年12月頃の発行予定です。  
機関誌担当 藤村・川崎・本間

### 【発行元】

医療法人 亀田病院 分院 亀田北病院  
認知症疾患医療センター  
〒041-0802  
函館市石川町191番地4

センター専用フリーダイヤル  
0120-010-701  
FAX専用ダイヤル  
0138-46-5505